

中日新聞

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

熱も愛知もEV化車愛



「イーブイ愛知」を設立した中小企業の経営者たち＝愛知県津島市で

「王国」に中小企業続々

ガソリン車を電気自動車（EV）に改造するビジネスが、愛知県内で活発化している。車からエンジンやガソリンタンクを取り外し、代わりにモーターや電池を搭載する。改造EVは、電池の性能向上などで参入しやすくなり、全国で相次ぐ中小企業の事業化の動きが「自動車王国」にも広がってきた。（藤嶋崇、渥美龍太）

電池や制度 参入容易に

トヨタ自動車などのOBらが三月、改造EVを手掛ける会社「タウンEV」（名古屋市中区）を設立した。単にガソリン車をEV化するだけでなく、車体デザインの變更も引き受ける。例えば、生花店向けに配送車両のポテターを改造して室内空間を広げ、鉢植えの観葉植物が入るように、といった具合だ。

大手自動車メーカーが対応しきれない、さまざまな

トヨタOBや業種連携も

間」を狙い、きめ細かな対応で事業拡大を目指す。電池メーカー向けの実験用や船のEV化などの注文も舞い込んでいく。

トヨタ出身の杉本祥郎社長は「自動車メーカー出身の技術者をそろえ、安全安心なのが特徴」とアピール。改造EVを事業化する動きが増えていることから、モーターと電池、制御装置をセットにした改造キットを同業者向けに販売することも検討している。五年以内に三十億～四十億円の売り上げを目指す。

今月中旬には、愛知県津島市の自動車販売会社などの中小企業約二十社が「イーブイ愛知」（名古屋市中区）を設立した。参入企業は印刷業や宝石販売業、経営コンサルティングなど業種がさまざま。それぞれが「イーブイ愛知」の伊藤勝規社長は「自動車の街、愛知だからこそ改造EVでも存在感を示したい」と意気込んでいる。

改造の費用は百万～五十万円程度。仕様は顧客の希望に依るが、連続走行距離が長くなるほど高くなる。十一月ごろから納車を始め、二〇一三年の受注目標は百台。ほかに今年五月に、豊橋市でも改造EVの会社ができた。改造EVをめぐっては、市場拡大を見据えて、EVに関心を持つ企業でつくる電気自動車普及協議会（東京）が、国とともにガイドラインを今年四月に作成。安全性を確保するよりどころとなつて、新規参入しやすくなった。

一方、東京や新潟などでは一年以上前から改造EVの事業化が始まっている。愛知県の業者は後を追う形となったが、イブイ愛知の伊藤勝規社長は「自動車の街、愛知だからこそ改造EVでも存在感を示したい」と意気込んでいる。